



年長児親子ふくべ山（瓢ヶ岳・標高1162m）登山に挑む

5月23日（木）、今年も下牧こども園恒例の年長児親子登山を実施することができました。このようなダイナミックな行事を毎年実施している背景には、「山の駅ふくべ」の皆さんのご支援が縁の下の方の力となっています。事前に職員と一緒に下見して、登山道を整備して下さった上に、当日も先遣隊として先行して安全を確認していただいているのです。毎年4～5名の方が力を貸して下さっています。

写真は、年長児12名が北西に連なる山々に向かって「ヤッホー！！」の場面。声が聞こえてきそうです。



「えいろくさん」との出会い



園長にこにこニュース（下牧こども園ホームページに掲載）<http://www.simomaki-hoikuen.com>

年長児親子ふくべ登山に行ってきました。ふくべ山をガイドして下さるのは、「ふくちゃん」と「えいろくさん」ご夫婦のお二人で長くお世話になっています。Aくんは「えいろくさん」の班で行動したのですが、山から下りた後も「えいろくさん」「えいろくさん」とニコニコ顔で連呼が止まりません。「えいろくさん」も「こんなふうに名前を覚えてくれて、何度もよんでもらえるなんて初めて。」と言えば「ふくちゃん」も「わたしも、こんな光景は初めてだよ。」と二人で顔見合わせて笑っています。Aくんは、この山登りの中で「光る草」や「おもしろい石、隕石かも」等、発見を繰り返しました。その度に「えいろくさん」は、「すごいね。表と裏とどっちが光ってるの？みんなAくんが見つけた光る草を見て、見て」とか「形もおもしろいね。隕石だったらすごいね。」など、まるごと受け止めて一緒に喜び合っているのです。この光景を見ながら「子どもは自分を認めてくれる大人との出会いを待っているんだな。」とつくづく教えられました。子ども12人が登頂したふくべ山は美濃市で一番高い標高1163メートルの山です。



「更生保護女性の会」読み聞かせ

今回は「なかよし組(3・4歳児)」に来ていただきました。担任が3名の方を「お姉さん」と言えば「おばあちゃんでしょう。」と言う子。「ゆっくり朝ごはん」の話では「園に遅れちゃう。」という子。素直で正直すぎる反応に笑うしかありません。楽しい時間になりました。



ぞう組さん(5歳児クラス)、古田さんと一緒に絵手紙の挑戦

6月19日、この日は古田富子さんに来ていただき、ぞう組さんが絵手紙づくりを体験しました。古田さんが季節感のある題材として持ってきてくださったアジサイを描いている子は「水色」「ピンク」「むらさき」等クレヨンを持ち替えながら真剣な顔でした。古田さんに「上手だね。」「よく見て描けたね。」とほめていただいて、ニコニコ顔の子どもたちでした。



〈お知らせ〉7月の末就園の会(たんぽぽクラブ)について

☆7月11日(木)

「水あそびをしよう」

水しぶきとこどもの笑顔?涙顔?が重なる瞬間のベストショットが撮れるかな。

☆7月27日(土)

「下牧ふれあい夏祭り」

夏の夜祭りは、こどもの天国なのでしょう。とびっきりの笑顔に出会えるはずです。

6月は「バランスボール」と「おやつ作り」を親子で楽しみました。



7月は親子で一緒に「夏」と遊びましょう!